

# 平成29年第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2017年6月16日（金）

午後6時30分から午後8時40分まで

片瀬市民センター第1談話室

## 《出席者》

- ・委員 19人（現在数24人）  
欠席5人（山岡委員，依藤委員，阿井委員，中川委員，金子委員）
- ・事務局 6人
- ・傍聴 0人

## 《当日資料一覧》

1. 第2回全体会議事録
2. 部会議事録
3. チラシ（5/25，6/10回覧分）
4. 第1回まちづくり地区集会開催結果概要（案）
5. 地区集会アンケート結果
6. コミュニティ拠点施設検討会議資料
7. まちづくり通信第27号（案）
8. 公民館活用部会 市への提言資料
9. 片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表・予算編成スケジュール
10. 平成29年度委員名簿
11. 平成28年度片瀬・江の島まちづくり協議会 活動報告集

## 1. 開会

開会に先立ち，新任委員の三鶯委員，澁谷委員に対して金子センター長から委嘱状が渡された。

## 2. 会長あいさつ

## 3. 報告

（1）平成29年度第2回全体会（5/16）について

事務局から説明し，確認した。

（2）各部会からの報告

### ①青少年健全育成部会

- ・龍の口竹灯籠（青少年ボランティア活動支援事業）について，片瀬少年少女探検隊や高校・大学生の子ども達への声かけ・周知の仕方を教えて欲しい。

→これからになるが、中学生については周知をしていく。高校・大学生については実行委員会がアルバイト扱いにできるか検討している。

・子ども達への周知は早めにしないと予定が立たないのでは？

→部会で調整する。委員会にも要確認

#### ②まちづくり推進部会

・公園にベンチを設置するとのことだが、公園課の予算で置けないのか。

→公園課に要望しても時間がかかるので、今までもまちづくりの予算で公園内にベンチを設置してきた経過がある。

#### (3) 各課題別検討ワーキングからの報告

議事録を基に石倉座長から報告した。

#### (4) 各地域団体等からの報告（トピック）

①片子連→6月24日（土）にわくわく子ども天国が開催されることを周知した。

②支援フォーラム→片小中生が海岸清掃ボランティア団体「海さくら」、日本財団が企画する「くぎを使わない海の家」に3年かけて絵を描いていく計画に参加していることを報告した。

③社協→生活支援部会が研修会を開催する旨を周知した。

④青少協→デーキャンプ開催の旨を周知した

## 4. 議題

### (1) 片瀬山幼稚園跡地の利活用について

#### ○地区集会の振り返り

開催結果概要（案）、アンケート結果を基に事務局から概要を報告し、振り返りを行った。

《三鶯委員》市民自治推進課と地域住民との認識のずれが大きいことが気になった。

《徳江委員》質疑応答でのやりとりを見ていて、市民自治推進課は地区集会よりも前に住民と話し合いの場を設けていたのではないだろうか。

《事務局》地域全体に話したのは今回が初めて。住民は大型・複合化施設のイメージを持っていたので、説明がずれた。

《長谷川委員》地域の期待が高まりすぎていたのでは。市民自治推進課は地区集会がスタートと思っていたのだろう。地区集会の後、片瀬山の住民から提言書を出す動きがあり、まち協も連名にして欲しいとの要望があった。

《畠山委員》当初は敷地全体を使つての複合化の話を片瀬山住民にしていたはず。

《事務局》全ては検討委員会で話を進めていくことになる。アイデアを沢山出していきたい。

《徳江委員》片瀬山市民の家だから、片瀬山の人を中心に話し合えばいい、という意識が強い。まち協から委員を出すときはどのように考えていけば良いのだろうか。

#### ○新コミュニティ拠点施設検討会議のまち協からの選出について

まち協委員から選出することについて、市民自治推進課の考え方に関する資料を確認した。要綱等ができあがるのを受けて、選出を検討していく。

#### ○まちづくり通信第27号について

役員会で確認した原稿を基に確認を行った。

《犬山委員》市民自治推進課が作成したような内容に思える。また、事業計画の説明が無いのはまちづくり通信としていかがか。

→全体会終了後、地域広報部会を開催し、紙面について議論することとした。

(2) 公民館活用部会の提案について

田村部会長から提言書の提出を検討するに至った経緯を説明し、議論した。

《犬山委員》抽選会でどのくらいのコマ数が埋まるのか。

《田村委員》判らない。

《島田委員》現在の抽選システムは公平なので、今のままが良い。

《徳江委員》色々な可能性を考えて欲しい。

《犬山委員》本件は公民館で話し合うことではないか。提案書は手荒な手法。先に生涯学習総務課を呼んで話をする、といった方法を検討しては。

《田村委員》今回の提言書の主旨は幅広い意見を聞く場が欲しい、ということ。

《川嶋委員》地区内で独自にルールを作れるのであれば、先にそうした方が良いのでは。

《金子（センター）》提案は一つの手法であり、参加人数の少ない部会での検討では限界がある。これをきっかけに他の委員や関係者にも拡大 WG 的に関わっていただき、議論を拡げて充実して欲しい。

《長谷川委員》利用者を含めて、色々な意見を聞いて欲しい。

《田村委員》部会で再検討する。

(3) 平成30年度まちづくり事業の計画検討について

○平成30年度概算予算要求について

○本要求に向けた事業の評価、部会の再編等の検討

事務局から資料の説明を行い、平成30年度の概算要求予定、及び予算要求のスケジュールについて説明した。

《長谷川委員》私見だが、交通安全対策について道路行政と総合的に話をしていきたい。

《石倉委員》青少年健全育成部会、郷土魅力継承等課題検討ワーキングでは事業を検討中である。

概算要求の話をされても、事業化を具体的に進めようとしても今からでは予算要求に間に合わない。

《三觜委員》それは部会でまず検討すべきこと。

《事務局》概算要求はここまで議論してきた範囲内とし、今後詳細の検討が進み、必要により、本要求で対応していくことになる。

(4) その他

○委員変更に伴う部会の所属状況に変更があったため、新しい委員名簿を確認した。

《石倉委員》郷土魅力継承等課題検討ワーキングも名簿の中に入れて欲しい。

○平成28年度の活動報告集を事務局が作成したため、委員に配布した。

## 5. その他

### (1) 当面の日程

当面の日程を確認した。

第4回役員会 7月 3日(月) 18:30~20:30 市民センター第2談話室

第4回全体会 7月18日(火) 18:30~20:30 市民センター第1談話室

## 6. 閉会

以 上